鼻の穴

中野和哉

［配役］
Virus　（インフルエンザウイルス）
鼻毛
花粉
綿毛

暗転した舞台。
下手サス。ウイルスが立っている。

Virus　えー、私、インフルエンザウイルスです。
あまりにも小さいので、ここ(指先)が話している体で聞いてください。
このお話は、あなた方の時間からすれば、1 秒にも満たない間での話です。
舞台は、鼻の穴の中です。
私は、ご存知の通り、あなた方にとっては、すごく害がある人です。
しかし、私は問いたい。
本当に、私は、悪い人なのでしょうか。
鼻毛　(暗がりから、優しく)悪い人だよ。

ハサミの音。
中央エリアが点く。下手サスは消える。

Virus　鼻毛！
鼻毛　いま、切られちゃった。
Virus　ああ、鼻から飛び出たから。
鼻毛　大丈夫。また伸びる。
Virus　なんて前向きな。その前向きさに惹かれ、私は彼女にプロポーズしました。
(鼻毛を指し)妻です。
鼻毛　わたしたち、国際結婚したんです。
Virus　今では子供もふたりできました。

花粉が入ってくる。

花粉　おやじ、おふくろ。
Virus　花粉。

鼻毛　こんな時間までどこに行っていたの。
花粉　いいだろ。どこでも。
鼻毛　よくないです。あんまり遠くに行っちゃだめなのよ。
花粉　おやじ、おふくろ。俺、家を出たいんだ。
Virus　なぜだい花粉。
鼻毛　いいじゃない。鼻の穴の中で。快適でしょ。
花粉　俺にはやるべきことがあると思うんだ。(小さく)受粉とか。
鼻毛　それは、もっと大人になってからね。
花粉　本気なんだ。受粉したいんだ。
鼻毛　はいはい。ご飯にしましょう。
花粉　まじめに聞いてくれよ。受粉したいんだ。

綿毛が登場する。

綿毛　(大声で入場して)一花咲かせたるんや！
　　なんでやねん！ 違うやろ！ お前はアホかっちゅうねん！
Virus　勉強、がんばってるな。
花粉　(綿毛に)今の勉強だったの。
綿毛　花粉、少し勉強もしたら。
花粉　うるせーな。
綿毛　関西弁勉強したら一花咲かせられるで。
花粉　どう関係があるんだよ。
鼻毛　一花咲かせたいのね。タンポポを咲かせたいのね。
綿毛　でもそれは、もっと後でええよ。
Virus　(やさしく)鼻の穴の中だもんね。今やると難しいね。
花粉　(つっけんどんに)鼻の穴からタンポポ咲いてたらバカにしか見えないだろ。
綿毛　バカはあかん！ 関西やと、アホ言わなあかんのや。
花粉　だいたい鼻から伸びたら切られるんだよ。おふくろみたいに。
鼻毛　…
Virus　こら、花粉。お母さんに謝りなさい。
花粉　事実だろ。
Virus　(少し怒って、強めに)おい。
鼻毛　はいはい。怒らないの。ごはんにしましょ。
花粉　だいたいさあ、ここに住む意味がわかんねーっての。
　　綿毛は場所取るし、伸びれば切られる。おふくろだってそうだ。俺は花粉症だって嫌われるし、
　　おやじは増えようとしたらタミフルでやられるぞ。
Virus　そうだな。俺はただ増えたいだけだ。おまえは、受粉したいだけだ。
　　鼻毛は伸びたいだけだし、綿毛は一花咲かせたいだけだ。
　　でもみんな、悪くみられる。

鼻毛　みんな、同じ悩みを抱えてるの。だからいっしょにいるのよ。
さ、もういいでしょ。ごはんにしましょ。
花粉　ごまかすなよ！ っていうか、俺らがいっしょに食うメシって、何なんだよ！
鼻毛　家族なんだから、ごはんぐらいいっしょに食べましょう。
花粉　おれたち、本当の家族じゃねえだろ！

鼻毛はかっとなって、ビンタしようとする。

綿毛　あきまへん！

綿毛は、花粉をかばって、ビンタされる。

鼻毛　ああっ！
綿毛　かあちゃん、それはあきまへん。
鼻毛　だって、本当の家族じゃないなんて…
花粉　あたりめーだ。
綿毛　花粉もええかげんにしとき。
花粉　関西弁マネできてねーよ。おやじのマネなんかしてんじゃねーよ！
綿毛　浪花節は、一花咲かせる感じがするやろ！
花粉　関係ねーよ！
Virus　確かに、どう見ても家族には見えない。
鼻毛　あなた！
Virus　俺と鼻毛は結婚して、そして、お前たちは養子だ。
花粉　あの頃は行き場がなかったからな。感謝してるよ。でもな、俺はな、受粉しなきゃいけないんだ。
鼻毛　離れ離れになるなんて、嫌よ。
綿毛　そらそうです。わてもですわ。
花粉　綿毛だって、外に出たいんだろ。
綿毛　そんなことありまへん。
花粉　ここじゃ一花咲かせられない。
綿毛　わかってます。でも、べつにええんです。
花粉　関西弁に逃げてないで、普通に咲けよ。
綿毛　できるんだったらそうしてるよ！ …はっ。
花粉　…おやじ、おふくろ、俺たちは家族じゃないんだ。
だから…(だから離れ離れになろう、とは言えない)
鼻毛　そんな…花粉、綿毛！
Virus　俺たちは家族だ！ でも、分かったよ。花粉も綿毛も、親離れの時なんだ。俺たちも子離れしなきゃ。
花粉　おやじだって…
Virus　何だ？

花粉　きれいごと言ってるんじゃねーよ。おやじだって、喉とか肺ですげー増えたいって言ってただろ。
Virus　大人はな、そういうのは、飲み込んでおくんだよ。子供は出て行く、大人は残る、そういうものだ。
鼻毛　ウイルス、増えたいの？
Virus　…君がきっと苦しむ。君というか、君の宿主的なものが。
君が守ってきたものを、僕が壊したくはないよ。
鼻毛　私のせいにしないで。…悪い人だよ。
Virus　…
花粉　俺は行くよ。綿毛、行くぞ。
綿毛　…とうちゃん、どないするの？
Virus　…
綿毛　離れ離れは許さないわ。
花粉　(同時に)おふくろ。
綿毛　(同時に)かあちゃん。
Virus　わかってるよ。
綿毛　わかってない。私も行く。

戸惑いと沈黙。

三人　どうやって？
鼻毛　私は、どこでも生きていけるから。
綿毛　それはちょっと難しいんとちゃいますか。
花粉　どうやって飛ぶんだよ。
鼻毛　飛ぶ…

鼻毛は Virus, 花粉、綿毛をそれぞれ見る。

鼻毛　鼻毛、飛べない、ただの鼻毛。
Virus　得手不得手っていうものがある。
花粉　おふくろ、おれ、ひとりでやってみたいんだ。
鼻毛　…親がついていくのはおかしいね。
Virus　そうだね。(花粉、綿毛に)行きなさい。
花粉　ああ。達者でな。
綿毛　また帰ってきます。ほな、さいなら。…さようなら。

花粉、綿毛は出て行く。

鼻毛　出て行ったね。
Virus　うん。

鼻毛　　孫は、見れるかな。
Virus　　どうかなあ。

終劇。